

**【テトラーク式引上装置を用いた合金試料作製】**

テトラーク式引上装置を用いて作製した合金試料は、写真1のような形状となります。写真2のアーク溶解合金を溶解しながら、引上軸(タネと呼ぶ)を溶融状態の合金表面に接触させた後、所定の速度で上昇させることにより引上部が形成されます。この得られた引上部について、走査型電子顕微鏡や電子プローブマイクロアナライザーにより組織観察や元素分析を行っています。非常に興味深い知見が得られています。



写真1 テトラーク式引上装置を用いて作製した合金試料



写真2 アーク溶解合金と引上軸



写真3 引上途中で中止した場合



写真4 テトラアーク式引上装置(外観)

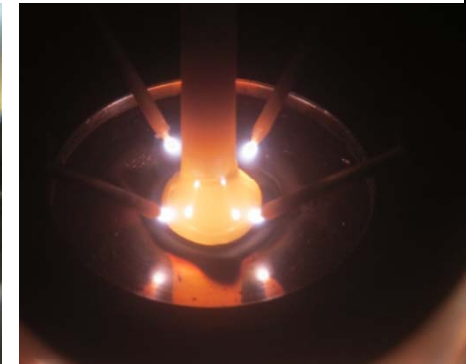
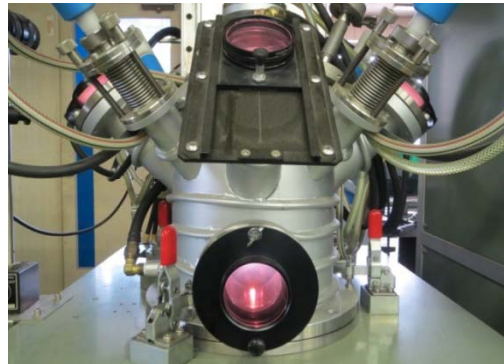


写真5 テトラアーク式引上装置(装置内)

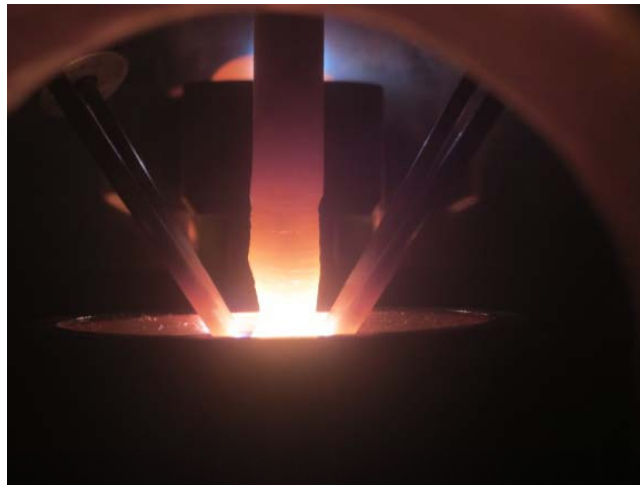


写真6 引上初期

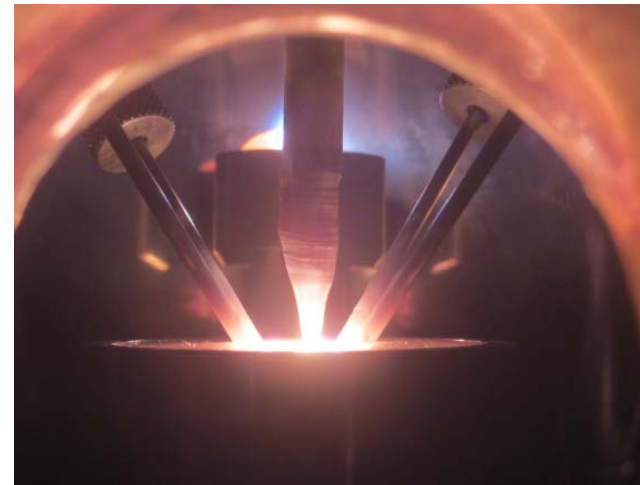


写真7 引上終了直前